

(第3種郵便物認可)

都市大女子初の4強



創造男子は準々決勝敗退

春高バレー 全国大会

第66回全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー)は7日、男女の3回戦と準々決勝を行った。女子・都市大塩尻は3回戦で大和南(神奈川)に2-1で勝利し、準々決勝で鹿兒島商(鹿児島)に0-2で敗れ、準決勝に進出を逃した。男子・創造学園は3回戦で高松商(香川)に2-0で退け、初の4強入りを果たした。男子・創造学園は3回戦で、接戦となった第1セットを29-27での

男子		女子	
◇3回戦	創造学園 2 (25 19)	◇3回戦	都市大塩尻 2 (25 18)
	駿台学園 0 (25 19)		大和南 1 (29 25)
	(東京)		(神奈川)
◇準々決勝	鹿兒島商 2 (25 23)	◇準々決勝	都市大塩尻 2 (26 17)
	創造学園 0 (25 22)		高松商 0 (24 17)
	(鹿児島)		(香川)

都市大塩尻

都市大塩尻は真骨頂の粘り強さを見せ、3回目の出場で初のセンターコートを取った。3回戦で大和南を退け、春高やインターハイ、国体などで一気に駆け上がった。牧田春奈主将(3年)は「最高です」と満面の笑みを見せた。

接戦の3回戦をものにしながら、準々決勝の第1セットは、序盤から取って取られてのシーソー戦をもち取った。

自慢の粘り 接戦で真価

どこまで鬼門だった「8強の壁」を乗り越え、勢いを増したチームは準々決勝を2-0のストレート勝ち。4強ま

ゲームで、互いに我慢の展開が続いた。終盤、都市大塩尻は4連続得点を奪われ、21-24と劣勢を強いられた。だが、そこから底力を発揮した。

選手たちは「もう一回立て直そう」とコートで声を掛け合い、集中力を

【都市大塩尻―高松商】勝利を喜ぶ都市大塩尻の選手たち

にし、第2セットは落としたものの最終セットを25-18で奪った。

準々決勝は第1セットで先行を許す苦しい展開となったが地力を見せた。終盤に逆転して、26-24で先取すると、第2セットも取ってストレート勝ちした。

創造学園は3回戦を第1、2セットともに25-19で奪い、快勝した。準々決勝は粘りながらも第1セットを22-25で落とすと、第2セットも劣勢をほん回できず、23-25で及ばなかった。

準決勝は11日に東京体育館のセンターコートであり、都市大塩尻は東九州龍谷(大分)と戦う。(山浦雄一郎)

高めた。懸命にボールをつなぎ、まずは2点を返した。さらにレフト高相みな美(2年)が「絶対決めてやる」と意地を見せ、3連続でアタック得点をたたき込み、このセットをもぎ取った。

(山浦雄一郎)

■この記事・写真等は市民タイムスの許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。